



文星芸術大学  
附属中学校・高等学校  
〒320-0865  
宇都宮市陸町1-4  
電話 (028)  
636-8000 (中学直通)  
636-8585 (高校直通)  
<http://www.bunsei.ed.jp/>  
発行 教務部・学報編集係

文星芸大附now!  
は、平成17年4月  
に「文星芸術大学  
附属中学校」の開  
校に合わせて発  
刊されました。

学校の最新情報は  
「Facebook」を  
ご覧ください！

**中学校行事予定**

▽三月  
5日(土) 新入生オリエンテーション  
10日(木) 三年生を送る会  
15日(火) 表彰式(三年生)  
卒業式予行  
16日(水) 第九回卒業式  
24日(木) 一・二年生修了式

# 一步先の自分へ

文星芸術大学附属高等学校 校長 大木 廣 巳



先日、佐野日本大学高等学校にさくらインターアクトクラブが誕生してそのクラブ認証状伝達式が行われ、私も参列しました。その式の中で、名誉校長の寺内治男先生が次のような話をされました。

「今から十数年前にイギリスの百年近い歴史のあるロータリークラブを訪ねた時、『人からして欲しいと思うことすべてを人々にせよ』『己の欲せざることは人にほどこすこと

なかれ』という宗教的な教訓や『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』『他人のことに尽くす、超我の奉仕』というクラブの理念が脈々と息づいており、これが重ね合わされて、それをもとにクラブの活動がなされていることに深く感銘を覚えました。

今、グローバル社会ということが盛んに言われており、国際交流が活発になるとともに、テロや環境破壊、国際難民、あるいは高度情報化に伴うサイバー

テロなど、私たちを取り巻く環境の変化は激しく、これから一層、不透明な社会になることも予想されます。高齢化社会や人口減少、絶え間ない技術革新に伴う社会や職業の在り方そのものの変化、自然災害の恐怖など、将来の夢や希望を描けない時代であるとも言われています。

そうした中で、これからの厳しい挑戦の時代を乗り越え、高い志や意欲を持った自立した若者として未来を切り開いていくのは皆さんのことです。

やりの心で関わっていく人間として成長していったほしいのです。

本校の校訓である「三敬」の教えのもとでの学びや活動を通して、自分を錬磨し成長させるとともに他人の立場を理解して尊重し、自分のなすべきことに全力で取り組んでいる皆さんなら、必ず出来ると思うのです。

明日の自分は今日の自分より一步先の自分になるよう、少しでも成長しているように、一日一日を全力で頑張らしましょう。



大木廣巳書 「超我」

今年度も多くの先生方のご協力により、本誌を発行することができました。お忙しい中、編集作業にあたって頂いた担当者の皆様、大変ありがとうございます。また、短い執筆期間にも関わらず、原稿をお寄せ頂いた方々に深く感謝申し上げます。

今後、学校での生徒の様子や伝わる誌面を目指して発行して参ります。ご支援よろしくお願ひします。

【中学校】

- 編集担当者
- 梶川 崇
  - 福田 和弘
  - 荒井 千穂
  - 安達佳奈子
  - 森 玲子
  - 高橋 健夫
  - 富田 佑也
  - 荒井 祐也
  - 石渡佑一郎
  - 森本 浩雅
  - 丹羽 啓介
  - 高山 錬
  - 白戸沙和恵
  - 鈴木 一彰
  - 横山 恵子
  - 齋藤 淳
  - 阿久津俊彦
  - 長岡 有紀

**高校行事予定**

- ▽三月
- 1日(火) 第六十八回卒業証書授与式
  - 2日(水)~7日(月) 学年末考査
  - 7日(月) 身体計測・個人写真撮影
  - 8日(火)・9日(水) 追試験
  - 19日(土) 新入生オリエンテーション
  - 22日(火)・23日(水) 生徒臨休
  - 24日(木) 第一・二学年修了式 (教科書購入)
- ▽四月
- 5日(火) 在校生登校日
  - 7日(木) 入学式
  - 8日(金) 第一学期始業式・対面式

高等学校

卒業生へ贈る言葉

生きるための知恵



第3学年主任 直井 秀幸

三年前の春、真新しい制服に身を包み、期待と不安の入り交じった顔で正門をくぐり入学してきた君たち。あれから、あつという間に三年という月日が流れ、まさに今、君たちは、文星芸術大学附属高等学校を旅立とうとしています。

三年生諸君

「卒業おめでとう」

クラスメイトと共に切磋琢磨し、互いに高めあい、成長してきましたね。また、建学の精神である三敬精神を体得実践し、本校の伝統のページに足跡を残してくれました。

さて、これから本校を巣立っていく君たちが歩もう

学年担当教員より

とする道や向かおうとする社会は今までと異なり、より厳しく、そしてより期待されることでしょう。そのことを十分に認識して期待に応えてもらいたいと願っています。

これからの社会では、色々な課題を解決していかなければなりません。それには、君たちが、一生懸命にそのことに取り組むことです。

これからの時代を担う君たちが、今できることを実践し、多くの事を学んでほしいと思います。学ぶということは、培ってきた知識を自分なりに構造化し、困難や課題を解決するための知恵にしなければなりません。培った知識を活用していくことが重要なのです。

そのために、何事にも好奇心や意欲を持って取り組んで欲しいと思います。それが、君たちの生きるための知恵となるでしょう。

私たちは、君たちの成長を楽しみにしています。いつまでも、体に気を付けて元気で頑張ってください。を期待しています。

卒業おめでとう

卒業おめでとうございませう。文星の卒業生として誇りをもって下さい。これからは本番です。仕事も遊びも精一杯真剣に。

(学年副主任 小菅 光春)

足るを知る者は富む。

(生徒指導 新井 隆義)

三敬精神があれば大丈夫。皆さんの活躍を期待しています。

(雪野 賢)

「継続は力なり」

先の見通しが困難な世の中ですが、自分にできることを見つけ努力して下さい。

(梶川 崇)

「どうにもならない」と嘆くより「なんとかしよう」と挑んだ方が成長できます。「イイ男」になって下さい。

(福田 和弘)

「幸運の女神に 後ろ髪はない。」

やりたい事があつたら、常に待ち構えていて、逃さずチャンスを掴んで下さい。

(菊地 幸子)

人生、自分の選んだ道が正解です。弱々しく後ろを振り返るな。堂々と胸を張って前へ進もう。

(高橋 伸夫)

結果が出なければ努力する。それでも出なければもっと努力する。そうすれば必ず結果は出る。努力は決して裏切らない！

(小林 秀晃)

いつでもその時がスターラインです。焦らず、前進して下さい。

(森 玲子)

世界にはきみ以外には誰も歩むことのできない唯一の道がある！ 夢に向かつて突っ走れ！

(船木 勝)

君たちと過ごせたことに感謝します。ありがとう。旅立つ君たちの活躍を期待しています。

(高木 肇)

優しさとは相手を思い寄り添い続けること。誠実とは真心を持って人や物事に對すること。そして、すべてのことは自分自身に對する誠実さと、他人に對する優しさの二つに包括される。

(加藤 絵明)

一度きりの人生、大切に歩んでください。

(尾田 大輔)

ある人は言う。「知識と経験は、誰にでも扱える最上の武器である」と。日々、努力と忍耐です。

(河上 倫典)

成功の秘訣は「やればできる」と思うこと。自分を信じて力強い一歩を踏み出そう。

(西牟田 浩章)

人生とは戦いの連続のよななもの。「負けた」と思つた時点で戦いは終わる。何があつても、最後の最後まで諦めてなるものか。

(新山 貞一)

一人ひとりが、完全なるオリジナル。他に流されず、自分の足で一歩ずつ自分の人生を生きてください。

(新巻 晃)

他人のために尽くす人生こそ、価値ある人生である。これからの健闘を祈る。

(八木 祐樹)

若い時の苦勞は買つてでもせよ。自分の仕事に誇りを持ち、社会人の一歩を踏み出せ。

(就職指導部長 湊谷 浩司)

人生 死ぬこと以外は傷だらけの人生を！

(進学指導部長 馬場 義浩)

感謝



会長 長川 知宏  
第13期生徒会会長  
小川 (3年9組)

私は生徒会の活動を通して、多くの生徒がそれぞれの分野で、高い目標に向かって努力していることを改めて実感することができました。そしてその陰には、先生方のご指導や励ましが必ずあったことにいつも気が付かされました。勉強はもちろん、クラブ活動や学校行事、進路相談など、私たちが充実した学校生活を送り、目標に向かって全力を尽くす

生徒のために



会長 長川 拓宏  
第14期生徒会会長  
小林 (2年8組)

この度、小川会長の後任として生徒会長に就任しました。初めての経験で、正直なところ不安な気持ちもありますが、これまでお世話になった先輩方の姿を模範に、一年間の任期を生徒会役員と共に、精一杯取り組みたいと考えています。生徒会は、文星をより良い方向へ変えるために、積極的に行動する生徒の代表です。私はその一員として、

すことができたのは、お忙しいなか陰になり日向になり、いつも私たちを支えてくださった先生方のおかげだと心から感謝しています。また、これまで私を応援し支えてくれた家族や友人、生徒会の役員の方々にも、この場をお借りして感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。皆さんの温かい励ましと支えがあったからこそ、私は少なからず成長し、よき思い出とともに卒業することができるとも思います。これから前を向き歩んでいきたいと思えます。三年間、本当にありがとうございました。

皆さんの意見を大切に、生徒のための生徒会を目指し、全力で頑張っていきたいと思えます。学校を変えることは簡単なことではありません。個人の力にも限界があります。だからこそ皆さんの協力が必要不可欠です。一人ひとりの貴重な声に耳を傾け、より一層文星を良い学校にしたいと思えます。年に一度の雄飛祭や体育祭などの行事でも、様々な工夫を凝らしていこうと考えています。至らない点も多いかと思いますが、どうぞよろしくお願ひ致します。

表彰者一覧

- 学校長賞 齋藤 祐貴
- 十二カ年皆勤賞 西村 俊介
- 中高一貫六カ年皆勤賞 須藤 直暉
- 三カ年皆勤賞(93名) 大田原 蓮
- 一カ年皆勤賞(151名) 代表 田中 友太
- 日本私立中学・高等学校連合会会長賞 小峰 英也 神谷 駿
- 全国商業高等学校協会理事長賞 内川 渚生
- 宇都宮商工会議所会頭賞 飯島 海人
- 産業教育振興中央会会長賞 金田 幸祐
- 栃木県産業教育振興会会長賞 高津 遼資
- 全国経理教育協会会長賞 木村 哲也 鈴木 竜義 鈴木 陽太
- 全国商業高等学校協会主催検定試験三種目一級合格者 内川 渚生 金田 幸祐
- 東関東吹奏楽連盟賞 渡邊 健太
- 栃木県吹奏楽連盟賞 渡邊 健太

- 同窓会会長賞 神谷 駿 瀬野尾拓也 高津 遼資
- 栃木県高等学校文化連盟連盟賞 将棋部 代表 原田 拓
- 栃木県バスケットボール協会優秀選手賞 田中 広大 李沢 隆志 山本 一八 高嶋 寿剛
- 栃木県高等学校 体育連盟優秀選手賞 (バスケットボール) 田中 広大 李沢 隆志 石川 勝也 高嶋 寿剛 山本 一八 服部 公基 (卓球) 廣田 匠悟 長木 翔 足立 旭弥 安養寺 洸一 (柔道) 旭弥 安養寺 洸一 (剣道) 井関 賢二 (ボクシング) 井関 賢二 (テニス) 神野 拓海 (硬式野球) 吉田 拓海
- 部活動精励賞 坂本 哲男 加藤 拓郎 三森 崇弘 大谷 大雅 菅谷 純太 渡邊 大地 平野 吾紋 大貫 大哉 中丸 幹 豊田 征哉 田崎 大雅 原田 尚穂 櫻井 瑠海 田村 巧人 畠山 優 小林 巧人 茂田 匡治 中村 優太 八木澤 僚也 間宮 優太 磯 守峰 野澤 剛志 稲見 巧海 鹿沼 宏行 笠原 巧未 河原 洋生 井関 賢二
- 校内漢字テスト年間優秀賞(93名) 代表 木嶋 泰規

予餞式・予餞会

式は厳粛に行われ、三年生達はこれまでの学校生活に思いを馳せていました。予餞会では、後輩の進行の下、芸人のステージと生徒のダンスパフォーマンスで大いに盛り上がりました。恩師達の「餞」の言葉に胸を熱くした三年生の表情は、新たな一歩への希望に溢れていました。《ステージを終えた 先生方のコメント》 全校生徒・職員の前でパフォーマンスをすることに恥ずかしい気持ちから、抵抗感がありました。しかし、「やるなら本気」「中途半端は嫌だ」「三年生に喜んでもらいたい」と思い、本気で練習しました。本番は成功したかどうか分かりませんが、自分のやったことに満足しています。今後何事も本気で取り組みたいと思います。(堀本)



楽しさを知ることができた貴重な時間でした。三年生たちが社会に旅立つ前に社会人の先輩として、全力の舞を披露できたと思います。これからも高みを目指し、精進していこうと思えます。(福岡)

うまくできるかとても不安でしたが、本番では練習の時より良い演技ができたと思います。全力で練習してよかった！みなさんも、どうせやるなら何事も思い切ってやってください。(齋藤)

三年生に少しでも喜んでもらえるようにステージに立ちました。三年生が少しでも面白いと感じてくれたならとてもうれしいです。(長岡)

検定試験取得状況  
(二月末現在)

全商簿記実務検定		
【一級】	金田 幸祐 磯 拓海	神永 友貴 岸 隼
【二級】	【二級會計】	大島 佑基
【二級原価計算】	渡辺 光亮	林 優樹
【三級】	大木 涼平 大山 楓生	木村 翔太 佐野 颯
木村 翔太 佐野 颯	志鳥 大輝 鈴木 麗央	高橋 凌河 田代 眞也
千種 茂樹 日向野 宗	鈴木 隆弘	全商情報処理検定
【一級】	高橋 優斗	【二級】
【三級】	石原 溪太 磯 拓海	木暮 流星 杉山龍之介
鈴木 峻太 高橋 朔椰	田代 圭吾 星野 淳悟	若榊 光志 渡辺 光亮
全商商業経済検定		
【一級】	渚生 朝妻 大輝	内川 磯 拓海
【二級】	浅野 哲平 大山 楓生	木村 翔太 志鳥 大輝
鈴木 麗央 高橋 凌河	田代 眞也 林 優樹	増測 颯 若生 海斗
粕谷 優貴 木暮 流星	田代 圭吾 若榊 光志	田代 圭吾 若榊 光志

全経簿記能力検定

【三級】	中川 知温 大木 涼平	木村 翔太 佐野 颯	志鳥 大輝 篠原 岳志	鈴木 麗央 遠山 翔太	仲野 響介 新田 優斗
------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------

日本情報処理検定

【二級】	朝妻 大輝	【二級】	瀬野尾拓也 木暮 流星
------	-------	------	-------------

日本漢字能力検定

【三級】	池田 和樹 高野 竜爾	小笠原幸成 大森 宥摩	鈴木 隆弘
------	-------------	-------------	-------

校内読書感想文コンクール  
学校長賞

佐田 壮大(二一三)

文芸部賞

「天地明察」を読んで  
齋藤 祐貴(三一一)

作品賞

井上 友貴(二一二)  
山本 萌絵(二一二)  
池田 和樹(二一五)

努力賞

奥野 拓也(三一一)  
田崎 穂積(三二三)  
笹岡 紗南(二一二)



一月二十三日(土)、文星  
ジョイントコンサートが県  
教育会館小ホールで開催さ  
れました。今回で17回目を  
迎える今年のコンサートは、  
小雪の舞い散る中での催し  
にも関わらず、大勢の方々  
が来場してくださいました。  
「カルチャーステージ」で  
は、両校の文化部のパフォ  
ーマンスが会場を盛り上げ  
ました。中でも本校和太鼓  
部は今年度女子が入部し、  
華やかな中にも力強い演奏  
が印象的でした。  
また「ジョイントステ  
ージ」では、両校現役世代・OB・  
OGが一同に会した演奏が観  
客を魅了しました。特に第  
二部の「世界名作アニメコ  
レクション」では様々な世  
代の観客の方々が楽しんで  
いるようでした。



今年もたくさんのご来場と御声援  
ありがとうございました!!

台湾国際交流

二月二十三日(火)、台湾  
台南地区インターアクト  
との国際交流の一環として、  
本校を会場に日本文化体験  
が行われました。  
台湾の生徒やロータリア  
ンの方々、インバウンド留  
学生の皆さんは、書道鑑賞  
や座禅を体験し、本校生徒  
による日本文化のプレゼン  
テーションに聞き入ってい  
ました。また本校と宇都宮  
南高のインターアクト部の  
生徒による茶道の体験もな  
を受け、初めてのお抹茶の  
味を楽しんでいました。



今回の国際交流活動を期  
に、両地区のインターアク  
ト同士の交流がますます発  
展していくことを願います。



見舞金を渡す部長の渡邊君

先日発生した台湾南部地  
震の見舞金として、ボラン  
ティア委員が皆さんから集  
めた募金35603円をお  
渡ししました。ご協力あり  
がとうございました。

文星散歩道

(題字 大木校長)

③⑧ 今を見極め、未来を変える

田口 純平(家庭科)

気付いているでしょうか？  
皆さんの成長を陰ながら支  
え、自分のことのように喜  
んだり楽しんだり、悩んだり  
苦しんだりしてくれる存  
在に。特にその力が大きい  
のは家族です。その大事な  
家族に、感謝の気持ちを素  
直に伝えることができてい  
ますか？

時には、壁が立ちほだかる  
こともあると思いますが、  
そのような時こそ、何かを  
変えるチャンスの時だと信  
じ、全力で立ち向かってほ  
しいと思います。未来とい  
うものは、「今」を変えるこ  
との積み重ねから生まれる  
ものです。

常には何かを成し遂げるた  
めの目標、それを成し遂げ  
られるという自信や挑戦す  
る勇気を大切にしてくださ  
い。過去を振り返るよりも、  
未来へ活かすための、「今」  
という瞬間を全力で走り抜  
けてほしいと願います。

これからの人生を歩んで  
いく中で、皆さんは楽しい  
こと、嬉しいこと、辛いこ  
と、悲しいことなど様々な  
体験をしていくでしょう。

人は皆、「今」というもの  
にこそ生きていると思いま  
す。「今」と向き合い目標を  
持ち、努力をして、成長す  
る、そのひたむきな姿勢は  
周囲に感動を与えます。そ

して、皆さんを支えてくれ  
ている存在である家族への  
恩返しには、その真っ直ぐ  
な姿勢が不可欠です。周囲  
への感謝のしるしとしても、  
常に目標と向き合って進ん  
でほしいと思います。

### 将棋部

小林 智晴君(英二年)

全国将棋新人大会準優勝

一月二十八日(木)から三十日(土)に熊本県阿蘇市で行われた全国高等学校文化連盟将棋新人大会に、本校から小林智晴君、阪本駿君(英一年)の二名が県代表として出場し、小林君が見事全国準優勝に輝きました。

#### 【小林対戦成績】

- 予選 三勝一敗通過
- 決勝トーナメント
- 一回戦 対 坂本(和歌山)
- 二回戦 対 山口(長崎)
- 準々決勝 対 荒木(富山)
- 準決勝 対 引間(埼玉)
- 決勝 対 竹内(山梨)
- 準優勝 小林 智晴

### テニス部

全国選抜大会出場へ



全国準優勝を果たして  
 今回望外の準優勝という結果が残せ、うれしく思いますが、非常にレベルの高い栃木県の予選を突破できたので、ある程度自信はありました。しかし、周囲の方々の応援もあり、何とか予選を突破でき、その後も全国大会優勝経験者など厳しい対戦が続きましたが、決勝戦まで残ることができました。決勝戦も自分らしい内容の将棋が指せましたが、残念ながら負けしまいました。この経験を糧に、これからも全国大会優勝を目指して頑張ります。

小林 智晴

予選 三勝一敗通過

決勝トーナメント

一回戦 対 清水(新潟)

二回戦 対 中島(東京)

ベスト16 阪本 駿

【阪本対戦成績】  
 予選 三勝一敗通過  
 決勝トーナメント  
 一回戦 対 清水(新潟)  
 二回戦 対 中島(東京)  
 ベスト16 阪本 駿

夏の団体戦の雪辱を果たそうと努力してきましたが力不足でした。次の団体戦で必ず優勝し、先輩方と優勝旗を持って帰ります。

#### 関東地区高等学校文化連盟将棋新人大会群馬県男子個人戦

- 第五位 小林 智晴
- 第五位 阪本 駿
- 都県別対抗戦 第一位 栃木県 (小林・福田・阪本が受賞)

県新人大会でライバル足工大附属高校を破り、県一位として出場した関東選抜では苦戦が続きました。全国選抜常連校の法政二高や、関東大会常連校である霞ヶ浦、立教新座、駿台甲府との対戦では強い気持ちを持って闘い抜き、この度全国選抜への切符を勝ち取ることができました。

大会ではチーム一丸となつてベスト8以上を目指したいと思います。自分の納得のいくプレーをし、持っている力全てを出し切り、勝利に貢献したいと思いま

廣田匠悟選手(普三年)  
 東京卓球選手権  
 一般の部に出場決定



文星のゼッケンを背負って出場する大会も今回で最後です。学んできたことを出し切り、三年間お世話になった方々に恩返しが出来るように頑張ります。そして一勝でも多く勝てるようにライオン主義で頑張ります。応援宜しくお願い致します。

伊澤風我選手(普二年)  
 全国選抜予選66kg級優勝  
 全国高等学校選手権大会に出場決定



減量などの調整が順調に行き、レベルの高い栃木県予選を勝ち抜くことが出来ました。

日本武道館では、文星の生徒約二〇〇人を代表して、ライオン主義で日本一を目指して頑張ります。応援よろしくお願ひします

儘田裕也君(普二年)  
 栃木県高校デザイン展  
 最優秀賞受賞



デザイン部門で最優秀賞を受賞できて、また来年度の全国高等学校総合文化祭に出品できて大変うれしく思っています。今回の制作を踏まえてまた新たな作品を作りながら、自分の表現したい世界を追求していきたいと思っています。

橋本直道君(普二年)  
 県高校写真展第一位入選  
 関東地区写真展に出展



実はこの作品は、異なる二種類の作品を並べていた時にできた、偶然の産物でした。これからも、感性を磨き独創的な作品を作ることができるよう、努力していきたいと思ひます。

部活動の主な大会結果  
 ※英II 英進科 普II 普通科

#### 卓球部

全日本選手権  
 (ジュニアの部シングルス)  
 田中大翔(普一年) 1回戦

#### バスケットボール部

関東高等学校新人大会  
 2回戦進出

#### 柔道部

全国高等学校選手権県予選  
 (団体)  
 (個人)  
 81kg級 伊藤 寛明(普二年) 第3位

#### 剣道部

県高等学校新人大会  
 兼全国選抜大会県予選  
 (団体)  
 第3位

#### バレーボール部

県高校新人大会  
 第3位

栃木県高等学校  
 体育連盟優秀選手  
 (二・二年生)

#### 《テニス》

金森 拓仁(普一年)  
 柚木 武(普一年)  
 糸川 達(普一年)  
 《卓球》  
 草刈 祐亮(普一年)

中 学 校

卒業生へのメッセージ



校長 中山 一郎

「人生訓」とは？

読んで字の如し。人が生きていく上での教えや示唆をいう。

この人生訓を記した有名な本を最近読んだ。「葉根譚」である。

これは四〜五百年ほど前に、中国の明時代に生きた謎の人物、洪自誠の著書である。今の世にあってもその内容には実に新鮮味がある。自分の生き方への示唆、あるいは生徒の授業などにも生かせるだろう。その中に次のような一節がある。

繩鋸木断、水滴石穿。 学道者、須加力索。

(以下略)

「長い年月をかければ繩も鋸のように木を断ち、滴る水も石に穴を開ける。学ぶ者はこのように努力を重ねることが重要である。」と洪自誠は言っている。



第3学年主任 横山 恵子

三年生の皆さん、いよいよ卒業ですね。中学校で過ごした三年間で、皆さんは何を得ましたか。

一年生の時に国語の授業を担当して以来、二年ぶりに出会った皆さんは、あの頃のあどけなかつた顔がすっかり大人びて、最上級生としての頼もしさを感じました。また、体育祭などの学校行事や放課後の学習会などに、真剣に取り組む姿にも感心させられました。中学校でのさまざまな経験は、今後の人生の糧となり、指針ともなるでしょう。

総合的な学習の時間で書いた「自分への手紙」を覚えていきますか。

皆さんがこれから歩む道は、決して平坦なものではないでしょう。でも、さまざまな試練も人生のスパイスと受けとめて、くじけず、あせらず、一步一步進んでいくってください。

皆さんに輝ける未来が拓けることを祈っています。



3年1組担任 阿久津 俊彦

月日が経つのは早いもので、第九期生のみなさんといよいよ卒業の時期を迎えました。九期生のみなさんとは一年生から三年生までの三年間を同じ学年で過ごさせてもらい、さまざまな体験をしてきました。学年が上がるとつれ、心身共にたくましく成長していく姿が見られ、うれしく思います。文星中で学んだことを糧に、これからの高校生活に生かしてほしいと思います。

さて、みなさんは四月から高校生になります。高校生になると今まで以上に自分の考えを持ち、責任を持つて行動することが望まれます。また、将来について考えていかなければならない大切な時期です。自分自身と真剣に向き合い一日一日を大切に、高校生活を送ってください。最後に、個性豊かな第九期生のみなさんが、それぞれの将来や夢に向かって、大きくはばたいてくれることを期待しています。



3年2組担任 大石 雅美

早いもので皆さんと出逢ってから三年の月日が経とうとしています。最近「先生小さいね。」といわれることが多くなりました。いつの間にか制服が短くなるほどに成長をしましたね。体だけではありません。試練の尾瀬、別世界の英語研修、歴史に触れた修学旅行、そして何気ない日々の生活。皆さんはこの三年間で色々な経験をし、確実に成長しました。なぜなら、皆さんは気付かないかもしれませんが、三年前、入学式でのあどけない顔つきと今の顔つきでは全然違うのですから。

私にとって、皆さんと語り合い過ごした時間は宝物です。卒業するのは嬉しくもあり、またさみしくもあります。今、新しい一歩を踏み出す皆さん。夢に向かって惜しみない努力をしてください。夢は見るもの、希望は叶えるものです。夢を希望に変えていく力を持つてたくましく成長していきましょう。



第3学年副担任 田中 弓園

昨年度、九期生の皆さんとの時間は、週一回の英会話の時間に限られていましたが、今年度は毎日の英語の授業や多くの行事をはじめ、日々の多くの時間を皆さんと一緒に過ごしました。

授業や学習会で、熱心に取り組み、積極的に発言や質問をする皆さんと、一緒に考え意見を交わして、真剣にかつ楽しく学習できたことをとても嬉しく思っています。また、Y M C A 留学生との交流活動や雄飛祭での合唱の発表など、新しいことに前向きに挑戦する姿をととても頼もしく感じました。

年度当初、皆さん一人一人としっかり向き合ってきたいと、考え、過ごしてきましたが、多くの場面で皆さんの様々な表情に接し、大きな成長を感じた一年でした。それぞれの目標や夢に向かって新たな一歩を踏み出す皆さんを、これからもずっと応援し続けたいと思います。ご卒業おめでとうございます。

立 志 式

中学校第二学年は、二月十五日(月)の六・七校時に立志式、立志セレモニーを行いました。

式は、厳肅な雰囲気の中行われ、クラス代表の生徒二名が立志を迎えての作文を発表しました。

セレモニーでは、これから生きて行くうえでの座右の銘となる漢字一字を一人ひとりが発表するだけでなく、生徒たちが作詞を行った「すべては未来へ」という曲の発表も行われました。

今回立志をむかえた二年生は、今まで歩んできた過去を振り返り、これからの生き方について深く考える良い機会となりました。ここで考えたことを忘れず、これから歩んでいってほしいと思います。



立志に向けて作文発表

### 中大連携授業

中学三年生は、二月四日(木)の午前中からお昼にかけて、宇都宮文星短期大学で中大連携授業として調理実習を行いました。毎年短大の樋山先生のご指導のもと行われている授業です。



調理実習の様子

今回の実習では、主菜としてエビとイカのフライ、副菜としてレンコンのきんぴらとゴボウのサラダを作りました。

生徒達は、普段は使うことのできない調理場で、本格的な和食作りを体験することができました。樋山先生の話を熱心に聞き、一生懸命取り組み姿が見られました。完成した料理にみな満足し、おいしく食べることができました。

短大の樋山先生をはじめ、今回指導にあたっていただいた先生方に深く感謝申し上げます。

### 校外学習

二月五日(金)に中学三年生は、校外学習として群馬県にある富岡製糸場と県立自然史博物館へ見学に行ってきました。

富岡製糸場は、明治政府が日本の近代化のために初めて設置した模範機械製糸場として、昨年ユネスコ世界文化遺産に登録されました。約一時間ガイドの方から説明を受け、歴史について学ぶことができました。自然史博物館では、大きな恐竜の展示物や尾瀬の歴史などに触れることができました。



自然史博物館にて

富岡製糸場にて

### スキー教室

中学校一二年生は、二月三日(水)から五日(金)までの二泊三日で、スキー教室に行ってきました。場所は昨年同様、軽井沢プリンススキー場でした。

三日間とも天候に恵まれ、大自然の元、大いにスキーを楽しむことができました。

#### 生徒の感想

スキー教室を振り返って

二年一組 小坂 日向

私は今回のスキー教室で四回目のスキーとなりました。スキーのレッスンは始めて滑ることになりました。まるといきなり、リフトに乗って滑ることになりました。スキーの経験はありましたが、久しぶりに滑るので、うまく滑ることができず不安でした。しかし、実際に滑ってみると自分が思っていたよりも上手に滑ることができました。レッスンは終わると自由滑走の時間になりました。自由滑走では、クラスメートの廣田汐音さんと佐瀬みちるさんと滑りました。汐音さんは上級者コースだったので、すごく速くて上手でした。

三人で楽しく滑ることができました。

二日目は、午前と午後二時間ずつの計四時間のレッスンがありました。午前中は、急な斜面があるコースを滑りました。急な斜面だったので転びそうになりましたが、左や右へカーブしながら滑ることを意識して転ばずに滑ることができました。午前中のレッスンの後は昼食になりました。昼食には牛丼が出ました。はじめは量がとても多く食べられるか心配でしたが、午前中たくさん動いたおかげで食べることができました。お昼を食べ終わるとすぐに午後のレッスンに入りました。午後のレッスンでは山頂に行きました。山頂はとても高く、そこから見える浅間山はともきれいで壮大なものでした。そんなきれいな風景と一緒にスキーを滑ることができてとても幸せな気持ちになりました。二日目は一日中スキーをしていたのでとても疲れました。

三日目の活動では二日目の午後と同様に山頂に行って写真を撮ったり、ビッグウェーブを滑ったりしました。ビッグウェーブは、去年のスキー教室ではスピードを出しすぎてうまく滑れませんでした。今年はずいぶん調整することができ去年よりも成長した自分を感じることができました。

三日間のスキー教室を通して、一日目よりも二日目、二日目よりも三日目、去年よりも今年と、練習すればするほど上手になっていくことを感じ、最終的にはこんなに上手になれたことに達成感を感じることができました。三日間、充実した日々を過ごすことができて良かったです。



スキーの講習の様子



山頂にて

### 生徒会役員紹介

第十期生徒会役員が選出が行われ、生徒会役員が決定しました。心を新たに、文星中の歴史を築いていってほしいと思います。

- 生徒会会長 塚田 瑠々希  
 副会長 板橋 紅巴  
 役員 堤 大愛  
 高橋 佑太  
 青柳 拓篤  
 菅野 美空

### 新生徒会会長から一言

これからの生徒会は、二年生二人、一年生四人の合計六人で活動をしていきます。

今年度に引き続き目安箱を設置したので、様々な意見を取り入れたいと思っています。できる限り素早く検討、対応をしていきたいと思えます。ぜひ、目安箱を利用してください。また、今年度は、生徒会新聞の発行を増やしたいと思っています。ただ、パソコンでの制作は皆、慣れない作業なので、発行が遅くなってしまいかも知れません。しかし、しっかり発行していきたいと思えます。一年間よろしくお願ひします。

# 第24回 全国高等学校文化連盟 将棋新人大会 祝 準優勝！ 小林 智晴 君



## 文星フォトギャラリー



予餞式・予餞会



スキー教室／校外学習 中学校



中大連携授業／立志 中学校